

# I 2018年度 事業報告

## 1. 事業活動の概要

本財団は、優秀な人材の育成を図り、学問の研究等を奨励し、社会の発展と福祉に寄与することを目的として、全国の証券会社等関係機関からのご寄附により、1973年（昭和48）7月1日に文部大臣の許可を受けて設立され、2011年9月16日より公益財団法人に移行し、現在に至っています。

### （1）奨学事業

将来社会の各分野において指導的役割を担う人材を育成するとの趣旨により、大学生・大学院生への奨学事業を行っており、設立以来の奨学生修了者は、留学生を含め2019年3月末日現在3,662名になっています。

今年度は、新規に58名を採用し、学年進行者107名と合わせて165名に対し、81,835千円を給与しました。また、7月に奨学金授与式及び推薦大学連絡会、11月に奨学生懇談会、3月に奨学生修了式を開催しました。

その他、大学毎の集いを北海道大学、新潟大学、お茶の水女子大学、首都大学東京、慶應義塾大学、立命館大学、大阪市立大学、関西学院大学及び九州大学の9大学で開催し、現役奨学生、修了者や大学関係者との懇親を深めました。

### （2）研究調査・出版助成事業

高い水準の研究調査を盛んにするとの趣旨により、証券金融経済分野を対象に助成事業を行っています。

今年度、研究調査助成は10名に対し9,210千円を給付し、また研究出版助成は4名に対し4,000千円を給付しました。

### （3）証券奨学同友会支援事業

当事業は、奨学生修了者で組織する証券奨学同友会（以下「同友会」という）が行う活動を支援するものです。

今年度は、9月に関東地区で、10月に関西地区で総会と懇親会がそれぞれ開催され、多数の参加者があり盛況のうち終了しました。

また、8月に同友会報第44号が同友会関西地区幹事の編集により発刊され、同友会員はじめ関係者に配付されました。

## 2. 事業活動の状況

### (1) 奨学事業

#### ① 奨学金の給与

新規採用した 58 名及び学年進行者 107 名の合計 165 名に対し、奨学金 81,835 千円を給与しました。その状況は、以下の表 1～表 4 のとおりです。

新規採用の奨学生は、指定大学 30 校に対し 4 月 1 日から 4 月 30 日まで募集を行い、69 名の推薦候補者の面接（5 月 25 日～6 月 8 日）を経て、6 月 19 日開催の奨学生選考委員会による選考の結果を受け、6 月 22 日に理事会で決定したものです。

(表 1) 2017 年度の奨学生数及び奨学金給与額 (単位：名、千円)

区分	博士課程	修士課程	学部	計
学年進行者	12	20	75	107
新規採用者	3	17	38	58
計	15	37	113	165
奨学金給与額	7,500	20,280	54,055	81,835

(注 1) 給与月額は、博士課程 45,000 円 (55,000 円)、修士課程 40,000 円 (50,000 円)、学部 35,000 円 (45,000 円) であり、博士課程は 3 年間、修士課程は 2 年間、学部は 2 年次から 3 年間で給与期間としている。

※ 括弧書きは自宅外通学者

(注 2) 今年度中、博士課程 2 名、修士課程 1 名、学部 3 名の計 6 名が留学等により給与を休止している。

(表 2) 2018 年度の新規採用奨学生の所属学部等 (単位：名)

区分	人数	学部・研究科
博士課程	文系	1 経済学 (1)
	理系	2 物質理工学 (1)、生物資源科学 (1)
修士課程	文系	9 法学 (3)、法務 (2)、経済学 (1)、文学 (1)、教育 (1)、生活科学 (1)
	理系	8 理工学 (2)、工学 (2)、農学 (1)、保健学 (1)、生命科学 (1)、システム情報科学 (1)
学部	文系	30 法学 (11)、経済学 (4)、経営学 (1)、商学 (5)、文学 (5)、教育学 (1)、文教育学 (2)、都市教育学 (1)、
	理系	8 理学 (3)、理工学 (2)、医学 (1)、生命理工学 (1)、基礎工学 (1)

(表3) 2018年度奨学生数(大学別)

(単位:名)

区分 大学	新規採用者				2018年学年進行者				2018年度奨学生合計			
	博士	修士	学部	計	博士	修士	学部	計	博士	修士	学部	計
北海道大学		1	2	3	2	(1)2	2	(1)6	2	(1)3	4	(1)9
東北大学		1		1		(1)1	2	(1)3		(1)2	2	(1)4
筑波大学		1		1		1	1	2		2	1	3
東京大学			1	1		1	1	2		1	2	3
東京工業大学	1		1	2	1	1	1	3	2	1	2	5
お茶の水女子大学			2	2			2	2			4	4
一橋大学			1	1	2		1	3	2		2	4
首都大学東京			1	1			3	3			4	4
慶應義塾大学	1		1	2		1	(2)4	(2)5	1	1	(2)5	(2)7
上智大学			2	2		(1)1	2	(1)3		(1)1	4	(1)5
中央大学			3	3	1		4	5	1		7	8
日本大学	1		1	1		1	3	4	1	1	4	6
法政大学		1	1	2			3	3		1	4	5
明治大学		1	2	3		1	3	4		2	5	7
立教大学			2	2		1	3	4		1	5	6
早稲田大学		1	1	2		1	1	2		2	2	4
横浜国立大学		1	1	2	1		2	3	1	1	3	5
新潟大学		1	2	3	1		5	6	1	1	7	9
名古屋大学		1		1		(1)1	4	(1)5		(1)2	4	(1)6
名古屋市立大学			1	1			4	4			5	5
京都大学		2	1	3		2	2	4		4	3	7
同志社大学			(1)2	(1)2			(2)3	(2)3			(3)5	(3)5
立命館大学		1	1	2		(1)2	2	(1)4		(1)3	3	(1)6
大阪大学		(1)1	2	(1)3		(1)1	3	(1)4		(2)2	5	(2)7
大阪市立大学		1	1	2	1	1	2	4	1	2	3	6
関西大学			2	2			4	4			6	6
関西学院大学			1	1			3	3			4	4
神戸大学			2	2	(2)2		2	(2)4	(2)2		4	(2)6
広島大学		1	1	2	1	1	2	4	1	2	3	6
九州大学		2		2			1	1		2	1	3
計(30大学)	3	(1)17	(1)38	(2)58	(2)12	(6)20	(4)75	(12)107	(2)15	(7)37	(5)113	(14)165

(注) 括弧内は、留学生数(内数)。

(表4) 累計の採用奨学生数 (大学別)

(単位:名)

大 学 \ 区 分	博士課程	修士課程	学部	合計
北 海 道 大 学	32	40	101	173
東 北 大 学	25	34	106	165
筑 波 大 学	2	5	2	9
東 京 大 学	28	35	107	170
東 京 工 業 大 学	31	36	96	163
お 茶 の 水 女 子 大 学	0	3	7	10
一 橋 大 学	32	32	94	158
首 都 大 学 東 京 ( 東 京 都 立 大 学 )	29	34	103	166
慶 應 義 塾 大 学	29	37	111	177
上 智 大 学	30	34	109	173
中 央 大 学	3	23	83	109
日 本 大 学	1	3	10	14
法 政 大 学	0	18	75	93
明 治 大 学	0	26	74	100
立 教 大 学	3	21	78	102
早 稲 田 大 学	30	36	101	167
横 浜 国 立 大 学	1	2	7	10
新 潟 大 学	4	30	103	137
名 古 屋 大 学	30	23	105	158
名 古 屋 市 立 大 学	0	1	35	36
京 都 大 学	28	45	102	175
同 志 社 大 学	0	19	75	94
立 命 館 大 学	0	20	66	86
大 阪 大 学	24	37	92	153
大 阪 市 立 大 学	31	36	99	166
関 西 大 学	0	9	69	78
関 西 学 院 大 学	25	34	107	166
神 戸 大 学	32	32	92	156
広 島 大 学	33	33	94	160
九 州 大 学	26	35	96	157
計 ( 指 定 大 学 30 校 )	509	773	2,399	3,681

(注) 本表は、旧留学生制度による留学生を除いている。

② 奨学生の修了状況

今年度は、奨学生 65 名（博士課程 8 名、修士課程 20 名、学部 37 名。早期卒業等に伴う修了者を含む。）が修了しました。その状況は、表 5 及び表 6 のとおりです。

（表 5）2018 年度奨学生修了者の就職・進学状況

（単位：名）

区 分	博士課程	修士課程	学 部	合 計	備 考
(1) 就 職	6	11	23	40	
<内 訳>					
一般企業	2	10	18	30	
教育・ 研究機関	4	0	0	4	
公務員	0	0	4	4	{ 国家公務員 3名 地方公務員 1名
その他	0	1	1	2	
(2) 進 学	0	4	11	15	{ 同大学院 9名 他大学院 6名
(3) 在 学	2	5	3	10	
計	8	20	37	65	

（注）「(3)在学」は、進路未定者を含む。

（表 6）年度別の奨学生修了者数

（単位：名）

区 分 修了年度	大学院生		大学生	合 計
	博士課程	修士課程		
1976～2013年	468	672	2,119	3,259
2014	5	9	34	48
2015	2	17	34	53
2016	4	12	41	57
2017	3	13	41	57
2018	8	20	37	65
計	490	743	2,306	3,539

（注）上表には、2013 年度までの留学生（旧留学生制度）123 名（博士課程 21 名、修士課程 85 名、研修生等 17 名）が除かれ、辞退者 98 名が含まれている。

### ③ 奨学金授与式

2018年度（第45回）奨学金授与式は、7月13日午後3時から「如水会館」（千代田区一ツ橋）において新規採用奨学生53名、奨学生推薦大学の副学長、学生部長及び奨学金担当者、財団の役員、評議員、奨学生選考委員、同友会の幹事等にご出席いただき、総勢95名で開催しました。

引き続き開催しました懇親会では、奨学生選考委員会委員の藤田誠一氏（神戸大学理事・副学長）からご挨拶をいただきました。

#### ○ 当日の次第

開式	一、挨拶	理事長	稲野和利
	一、挨拶	理事・奨学生選考委員	藤田誠一
	一、	奨学生証書授与	
	一、祝辞	お茶の水女子大学 理事・副学長	三浦徹
	一、謝辞	奨学生代表 慶應義塾大学大学院博士課程	周郷万里菜
閉式			

### ④ 奨学生修了式

2018年度（第44回）奨学生修了式は、3月8日午後3時から「如水会館」（千代田区一ツ橋）において、修了の奨学生62名、奨学生推薦大学の副学長、学生部長及び奨学金担当者、財団の役員、評議員、奨学生選考委員、同友会の幹事等にご出席いただき、総勢113名で開催しました。

引き続き開催しました懇親会では、古澤修一氏（広島大学副学長）からご挨拶をいただきました。

#### ○ 当日の次第

開式	一、挨拶	理事長	稲野和利
	一、挨拶	奨学生選考委員会副委員長	小林康夫
	一、	奨学生修了証書及び記念品授与	
	一、祝辞	一橋大学 学長補佐	三隅隆司

一、 祝 辞	証券奨学同友会 代表幹事	高 田 とし子
一、 謝 辞	奨学生修了者代表 横浜国立大学大学院博士課程	小 林 勇 太

閉式

## ⑤ 奨学生指導関係

民間の財団なるが故に可能とされる「心の通った奨学制度」を目指したいとの思いから、奨学生が所属大学あるいは学部の垣根を越えて互いに交流し合える場として、「奨学生懇談会」を開催しています。

### 1) 東京会場

10月13日(土)午後1時から世界貿易センタービル39階、浜松町東京會館チェリールームで開催し、関東地区に所在する15大学に北海道大学、東北大学、新潟大学及び名古屋大学の奨学生を加えた19大学の奨学生96名、大学関係者18名、財団役員等11名、同友会員11名の総勢136名の方に参加をいただきました。

講師には、奨学生修了者(1981年修了)高世仁氏(株式会社ジンネット代表取締役)をお迎えし、「ジャーナリズムの役割～オーバードクターがテレビ屋になって」と題してご講演をいただきました。

### 2) 大阪会場

10月20日(土)午後1時からABC-MART梅田ビル8階、AP大阪梅田茶屋町で開催し、京阪神地区に所在する8大学に名古屋市立大学、広島大学及び九州大学を加えた11大学の奨学生57名、大学関係者11名、財団役員等10名、同友会員1名の総勢79名の方に参加をいただきました。

講師には、奨学生修了者(1991年修了)の梶山玉香氏(同志社大学法学部・大学院法学研究科教授)をお迎えし、「「みんなちがって みんないい」は理想論か?」と題してご講演をいただきました。

## ⑥ 奨学生推薦大学連絡会

奨学生選考委員から推薦大学の担当者に対して、当年度の奨学生選考の経緯等についての説明を行い、資質優秀な学生の推薦をお願いし、また奨学生の支援に関し連携を図るために、毎年奨学金授与式の式典当日に開催しています。

今年度は、稲野理事長出席の下、佐々木正峰奨学生選考委員長、小林康夫副委員長、委員 5 名と推薦大学 25 校の副学長、学生部長や奨学金担当者との間で意見交換が行われました。

## (2) 研究調査助成事業

### ① 研究調査助成金の給付

研究調査助成金はその総額を 1,000 万円とし、証券金融経済分野の研究を対象に、大学において学術の研究調査に従事している個人又はグループ及び民間研究機関の研究者に対し、4 月 1 日から 6 月 30 日まで募集を行い、申請件数 24 件、申請総額 30,263 千円の応募がありました。

7 月 20 日の研究調査助成選定委員会の審査を受け、7 月 23 日の理事会で助成件数 10 件、助成金総額 9,210 千円を決定し、給付しました。

研究調査助成金の申請状況及び受給者は、表 7 及び表 8 のとおりです。

(表 7) 研究調査助成金の最近 5 年度の申請状況

イ. 地域 (上段: 申請件数、下段: 申請大学数)

(単位: 件、校)

	北海道	東北	関東	中部	関西	中国	四国	九州	計
2014年度	0	4	11	3	7	0	0	2	27
	0	4	8	3	7	0	0	2	24
2015年度	0	3	8	2	4	3	1	0	21
	0	3	7	2	4	3	1	0	20
2016年度	0	0	16	3	4	2	0	5	30
	0	0	14	3	3	2	0	5	27
2017年度	0	1	10	2	7	0	0	2	22
	0	1	9	2	7	0	0	2	21
2018年度	0	2	10	2	7	1	0	2	24
	0	2	10	2	6	1	0	2	23



ロ. 年齢

(単位：名)

	30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 55歳未満	55歳以上	計
2014年度	1	7	14	4	1	27
2015年度	0	6	8	7	0	21
2016年度	0	6	11	9	4	30
2017年度	0	5	6	11	0	22
2018年度	0	3	14	7	0	24

(注) グループの共同研究者を含まない。

ハ. 個人・グループ別

(単位：件)

	個人	グループ	計
2014年度	21	6	27
2015年度	8	13	21
2016年度	16	14	30
2017年度	12	10	22
2018年度	15	9	24

ニ. 研究期間

(単位：件)

	1年以内	1年超 1.5年以内	1.5年超 2年以内	2年超 3年以内	計
2014年度	18	6	3	0	27
2015年度	12	0	8	1	21
2016年度	18	1	3	8	30
2017年度	11	2	6	3	22
2018年度	17	3	3	1	24

(表8) 2018年度研究調査助成金受給者の一覧

研究代表者	研究調査課題	研究形態	金額(円)
大阪市立大学大学院 都市経営研究科 准教授 オ小ゼキ タマ ネ音	革新的科学技術を基盤とするベンチャー企業の資金調達の方法—英国Patient Capital概念の検証を踏まえて	個人	1,000,000
明治大学 公共政策大学院 ガバナンス研究科 教授 カ加 トウ リュウ タ	高齢化社会における産業間の労働移動・失業と女性労働の数値解析的動学一般均衡分析	個人	1,000,000
東北文化学園大学 総合政策学部 准教授 クボ タ シゲ ヒロ	日本の経済成長に対するICTの効果に関する研究調査	個人	650,000
一橋大学 経済研究所 教授 クモ カズ ヒロ	人口減少社会ロシアのゆくえ：マイクロ計量分析とメタ分析による死亡要因の研究	共同	1,000,000
成蹊大学 経済学部 教授 タカ オカ スミ コ	金融政策出口戦略にむけた債券市場の役割：マイクロデータを用いた期間構造分析	共同	1,000,000
京都外国語大学 国際貢献学部 教授 ネモト クミコ	女性役員・管理層の増加と投資家・シェアホルダー役割の比較	個人	1,000,000
同志社大学大学院 ビジネス研究科 准教授 ノ野 セ瀬 ヨシ アキ	日本企業が株主優待を実施する要因 (financial visibility仮説の検証)	個人	1,000,000
東北大学大学院 工学研究科 准教授 フク ガワ ノブ ヤ	社会資本が持続的農業イノベーションの普及に与える影響	個人	1,000,000
埼玉大学大学院 人文社会学研究科 准教授 ミヤ タ イチロウ	米国における不動産税の債券化による都心回帰現象とその社会的影響に関する研究	個人	660,000
神奈川工科大学 情報学部 准教授 ヤ八 ギ木 イサオ	投資信託を対象とした分散投資規制が投信構成資産市場に与える影響分析 ～マルチエージェントシミュレーションを用いた分析～	共同	900,000
10件	9,210,000円		

## ② 研究出版助成金の給付

研究出版助成金はその総額を5,000千円とし、証券金融経済分野の研究を対象に、大学において学術の調査に従事している個人又はグループ及び民間研究機関

の研究者に対し 6 月 1 日から 9 月 30 日まで募集を行い、申請件数 9 件、申請総額 9,000 千円の応募がありました。

10 月 12 日の研究調査助成選定委員会の審査を経て、10 月 15 日の理事会で、助成件数 5 件、助成金総額 5,000 千円を決定しました。その後、1 名の辞退があり、助成件数 4 件、助成金総額 4,000 千円を給付しました。

研究出版助成金受給者は、表 9 のとおりです。

(表 9) 2018 年度研究出版助成金受給者の一覧

出版代表者 (著者)	研究出版物タイトル	出版形態	金額 (円)
福岡大学 法学部 教授 クボヒロノ展 久保寛	格付機関の役割と民事責任論 —EU法とドイツ法の基本的視座	単著	1,000,000
成蹊大学 経済学部 教授 ナガノマモル 永野護	新興国市場のファイナンス分析	単著	1,000,000
湘南工科大学 工学部 教授 ヒラヤマツトム 山勉	満鉄経営史	単著	1,000,000
ニッセイアセットマネジメント株式会社 チーフ・ポートフォリオ・マネジャー ビジネス・ブレークスルー大学大学院 経営学研究科助教 ヤマグチトモヒロ 山口智弘	ファイナンスへの無形資産価値評価モデル	単著	1,000,000
4 件	4,000,000 円		

(注) 本表は辞退者を除いている。

### (3) 証券奨学同友会支援事業

同友会は、本財団の奨学生修了者が奨学生時代に培った相互の信頼関係を維持し、一層深めるため、また会員相互の親睦と協調を図るとともに、本財団の発展に寄与することを目的として昭和 52 年 3 月 18 日に設立され、2019 年 3 月末日現在約 3,600 名の会員を有している組織です。

当事業は、この同友会が行う活動を支援するものです。

#### ① 同友会定期総会

9 月 8 日の関東地区総会及び 10 月 21 日の関西地区総会に各々同友会員 21 名及び 13 名の参加があり、それぞれ終了後に懇親会が開催されました。

② 同友会報の編集・発行

同友会は、会員の活動状況、近況報告等を掲載した「証券奨学同友会報」を発行しており、今年度は、関西区幹事の編集により 8 月に第 44 号を発行し、同友会員に配付しました。

(4) その他

○ 財団ホームページのリニューアル

一般向け情報公開を行う公式サイト及び奨学生や修了者相互の情報交換促進のための奨学生・OB・OG専用サイトをリニューアルしました。

スマートフォン等での閲覧を可能とするマルチデバイス対応により利便性を向上するとともに、「寄附者一覧」等の新たなコンテンツを新設しました。

### 3. 総務事項

#### (1) 本財団へのご寄附

今年度は、表 10 のとおり個人 9 件 9 名、法人 4 件の合計 13 件、6,199,026 円のご寄附がありました。

(表 10) 2018 年度の寄附者ご芳名

年月日	寄 附 者	区 分	金額(円)	趣 旨
2018. 5. 21	元奨学生 幸田亮一殿	個人	500,000	財団の奨学事業支援のため
2018. 6. 18	株式会社岡三証券グループ 取締役副会長 加藤哲夫殿	個人	1,000,000	叙勲を記念して奨学支援のため
2018. 7. 17	匿名	個人	100,000	財団の奨学支援事業のため
2018. 9. 25	匿名	法人	500,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2018. 10. 4	匿名	法人	34,181	奨学事業支援のため
2018. 10. 13	匿名	個人	5,000	財団の奨学事業支援のため
2018. 10. 13	元奨学生 秋葉就一殿	個人	3,000	財団の奨学事業支援のため
2018. 11. 26	元奨学生 渡邊保殿	個人	100,000	財団の奨学事業支援のため
2018. 12. 3	元奨学生 吉田学殿	個人	20,000	財団の奨学事業支援のため
2018. 12. 4	匿名	個人	10,000	財団の奨学事業支援のため
2018. 12. 14	SMB C日興証券執行役員 資産運用委員会委員 服部博則殿	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2019. 2. 27	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2019. 3. 28	日本証券金融株式会社	法人	2,876,845	証券界に寄与するため
合 計	13 件	—	6,199,026	—

## (2) 理事会、監査会、評議員会、委員会等の開催状況

今年度は、以下の諸会議を開催して所管事項について審議決定しました。

### ① 理事会

開催日	議 題
2018年4月3日 (書面) 〈決議日:4月10日〉	(審議事項) 1. 資産運用委員会委員の辞任に伴う新委員の選任について 以上、原案どおり承認された。
2018年6月7日 〈開催〉	(審議事項) 1. 2017年度事業報告及び収支決算について 2. 評議員会の招集について (報告事項) 3. 理事の職務執行状況(定款第29条第3項)について 以上、いずれも原案どおり承認された。
2018年6月22日 (書面) 〈決議日 6月28日〉	(審議事項) 1. 理事長等の選定について 2. 2018年度奨学生の採用決定について 以上、いずれも原案どおり承認された。
2018年7月23日 (書面) 〈決議日7月30日〉	(審議事項) 1. 2018年度研究調査助成金受給者の決定について 以上、原案どおり承認された。
2018年10月15日 (書面) 〈決議日10月22日〉	(審議事項) 1. 2018年度研究出版助成金受給者の決定について 2. 資産運用委員会委員の辞任に伴う新委員の選任について 以上、いずれも原案どおり承認された。
2019年1月11日 (書面) 〈決議日1月18日〉	(審議事項) 1. 資産運用委員会委員の選任について 以上、原案どおり承認された。

開催日	議 題
2019年2月25日 〈開催〉	<p>(審議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2019年度資産運用計画について</li> <li>2019年度事業計画及び収支予算について (2018年度の事業進捗状況について)</li> <li>事業安定積立資産の取崩について</li> <li>資産運用委員の任期満了に伴う選任について</li> <li>2019年度奨学生募集要項について</li> <li>2019年度研究調査助成募集要項及び研究出版助成募集要項について</li> <li>評議員会の招集について</li> </ol> <p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>理事の職務執行状況について</li> <li>2018年度奨学生修了者の就職・進学状況について</li> </ol> <p>以上、いずれも原案どおり承認された。</p>

## ② 監査会

開催日	議 題
2018年5月23日 〈開催〉	<ol style="list-style-type: none"> <li>2017年度の事業及び財務の状況について</li> <li>2017年度事業報告書及び収支決算書について (監査実施)</li> <li>監査報告書の承認について</li> </ol> <p>以上、監査した結果、2017年度事業報告書及び収支決算書は、適法かつ正確であると承認された。</p>

## ③ 評議員会

開催日	議 題
2018年6月22日 〈開催〉	<p>(審議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2017年度事業報告及び収支決算について</li> <li>理事の任期満了に伴う選任について</li> <li>監事の任期満了に伴う選任について</li> <li>評議員の辞任に伴う選任について</li> </ol> <p>以上、いずれも原案どおり承認された。</p>

開催日	議 題
2019年3月18日 (開催)	(審議事項) 1. 2019年度理事長等の報酬年額について 2. 2019年度の事業計画及び収支予算について (報告事項) 3. 事業安定積立資産の取崩について 4. 2018年度奨学生修了者の就職・進学状況について 5. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。

#### ④ 委員会

##### 1) 奨学生選考委員会

開催日	議 題
2018年6月19日 (開催)	1. 2018年度奨学生の選考について 以上、原案どおり承認された。
2018年1月30日 (書面) 〈決議日2月7日〉	1. 2019年度奨学生募集要項について 以上、原案どおり承認された。

##### 2) 研究調査助成選定委員会

開催日	議 題
2018年7月20日 (開催)	1. 2018年度研究調査助成金受給者の選定について 以上、原案どおり承認された。
2018年10月12日 (開催)	1. 2018年度研究出版助成金受給者の選定について 以上、原案どおり承認された。
2018年2月6日 (書面) 〈決議日2月13日〉	1. 2019年度研究調査助成募集について 2. 2019年度研究出版助成募集について 以上、いずれも原案どおり承認された。



### 3) 資産運用委員会

開催日	議 題
2018年12月20日 (開催)	1. 2018年度上半期の資産運用状況について 2. 2018年度下半期の資産運用について 以上、いずれも原案どおり承認された。
2019年2月19日 (開催)	1. 2018年度資産運用状況について 2. 2019年度資産運用計画について 以上、いずれも原案どおり承認された。

### ⑤ その他の会議

#### 1) 奨学生選考面接

開催日	内 容
2018年5月25日・ 28日・30日・ 6月1日	・奨学生候補者の面接（東京会場） 奨学生候補者：41名（大学院生14名、学部生27名）
2018年6月4日・ 5日・8日	・奨学生候補者の面接（大阪会場） 奨学生候補者：28名（大学院生9名、学部生19名）

#### 2) 推薦大学連絡会

開催日	内 容
2018年7月13日	1. 2018年度奨学生の選考状況について 2. 意見交換 3. その他
2019年3月8日	1. 2019年度奨学生募集について 2. 意見交換 3. その他

### (3) 役員、評議員、委員の異動状況

今期は、以下の役員、評議員、委員の異動がありました。

#### ① 役員・評議員

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2018年6月22日 (評議員会)	<p>(再任：6月22日)</p> <p>理事長 稲野 和利 氏 (一般財団法人地域総合整備財団〈ふるさと財団〉理事長)</p> <p>常務理事 入木 雅和 氏 (常勤)</p> <p>理 事 佐々木 正峰 氏 (独立行政法人国立科学博物館 顧問)</p> <p>理 事 鈴木 茂晴 氏 (日本証券業協会 会長)</p> <p>理 事 藤田 誠一 氏 (神戸大学 理事・副学長)</p> <p>(退任：6月22日)</p> <p>理 事 石 弘光 氏 (一橋大学名誉 教授)</p> <p>理 事 加藤 哲夫 氏 (株式会社岡三証券グループ 取締役副会長)</p> <p>(就任：6月22日)</p> <p>理 事 神作 裕之 氏 (東京大学大学院 教授)</p> <p>理 事 武樋 政司 氏 (いちよし証券株式会社 取締役会長)</p>

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2018年6月22日 (評議員会)	<p>(再任：6月22日)</p> <p>監 事 石井 登 氏 (立花証券株式会社取締役 社長)</p> <p>監 事 甲良 好夫 氏 (公認会計士甲良好夫事務所 公認会計士)</p> <p>監 事 山口 隆弘 氏 (山和証券株式会 社取締役社長)</p> <hr/> <p>(辞任：6月22日)</p> <p>評議員 木村 茂 氏 (木村証券株式会社 取締役会長)</p> <p>(就任：6月22日)</p> <p>評議員 岡地 敏則 氏 (岡地証券株式会社 取締役会長)</p>

## ② 委 員

### ○ 奨学生選考委員会

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2018年3月1日 (理事会)	<p>(再任：4月1日)</p> <p>委員長 佐々木 正峰 氏 (独立行政法人国立科学博物館 顧問)</p> <p>副委員長 小林 康夫 氏 (青山学院大学大学院 特任教授)</p> <p>委 員 藍澤 基彌 氏 (藍澤証券株式会社 取締役社長)</p> <p>委 員 伊達 悦朗 氏 (関西大学 教授)</p> <p>委 員 廣瀬 克哉 氏 (法政大学 常務理事・副学長)</p>

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2018年3月1日 (理事会)	委 員 藤田 誠一 氏 (神戸大学 理事・副学長)  委 員 宮島 司 氏 (慶應義塾大学 名誉教授)  委 員 向山 敦夫 氏 (大阪市立大学大学院 教授)  (就任：4月1日) 委 員 廣田 元孝 氏 (廣田証券株式会社 取締役社長)

○ 研究調査助成選定委員会

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2018年3月1日 (理事会)	(再任：4月1日) 委員長 佐賀 卓雄 氏 (日本証券経済研究所 理事・特任研究員)  副委員長 田中 素香 氏 (東北大学 名誉教授)  委 員 北川 哲雄 氏 (青山学院大学大学院 教授)  委 員 忽那 憲治 氏 (神戸大学大学院 教授)  委 員 須藤 時仁 氏 (獨協大学 教授)  委 員 武川 正吾 氏 (東京大学大学院 教授)  委 員 渡部 亮 氏 (法政大学 元教授)  (退任：3月31日) 委 員 神作 裕之 氏 (東京大学大学院 教授)

異動年月日 (承認会議体)	就任・退任
2018年3月1日 (理事会)	(就任：4月1日) 委員 山下 智信 氏 (同志社大学大学院 教授)

○ 資産運用委員会

異動年月日 (承認会議体)	就任・退任
2018年4月3日 (書面理事会)	(辞任：4月10日) 委員 前田 耕一 氏 (SMBC日興証券株式会社 執行役員)  (就任：4月10日) 委員 井手 俊太 氏 (SMBC日興証券株式会社 執行役員)
2018年10月15日 (書面理事会)	(辞任：7月31日) 委員 井手 俊太 氏 (SMBC日興証券株式会社 執行役員)  (就任：10月22日) 委員 服部 博則 氏 (SMBC日興証券株式会社 執行役員)
2019年1月11日 (書面理事会)	(辞任：8月1日) 委員 中野 北斗 氏 (みずほ証券株式会社 常務執行役員)  (就任：1月18日) 委員 吉澤 洋 氏 (みずほ証券株式会社 執行役員)

#### (4) 資産運用への取組み

##### ① 資産運用の基本方針

定款及び資産運用管理規程に則り、資産価値の維持を図ることを旨とし、事業目的の遂行に資するため、最善と考えられる方法により、安定性、継続性及び収益性に配慮した資産運用を行います。

##### ② 資産運用状況

安定性、継続性及び収益性に配慮し、保有する金融商品の売却は行わず、今年度の償還金 7 億円と前年度からの繰越資金により 9 億円の買付けを行いました。

具体的には、基本財産として、東証上場の米ドル建て投資適格社債 E T F 2 億円、J-REIT 指数 E T F 2 億円や米国有価証券市場上場の米国投資適格社債 E T F 5 億円の買付けを行いました。なお、事業安定積立資金としての償還及び買付けはありませんでした。

##### ③ 次年度の資産運用計画

2019 年度は、2018 年度に作成した中期資産運用計画に基づき、安定性、継続性及び収益性に配慮し、現在保有する金融商品については従前どおり満期まで保有することを原則とし、次年度の償還金 7 億円その他により米国有価証券市場上場の米国投資適格社債 E T F や東証上場の米ドル建て投資適格社債 E T F 等の買付けを行います。